

茂原市協働のまちづくり推進懇話会

(会議録)

令和4年2月14日（月）10時00分～

茂原市役所5階502会議室

ZOOM開催／（オフライン502会議室）

1. 開会
2. 協働のまちづくり推進事業の進捗状況について
3. 意見交換
4. 閉会

○出席委員（順不同・敬称略）

役員	区分	氏名	参加方法
座長	学識経験者	関谷 昇	リモート
座長職務代理	関係諸団体の代表	西條 博光	502
委員	〃	吉野 聰	リモート
委員	〃	河野 眞英	〃
委員	その他市長が必要と認める者	若林 理恵	〃
委員	〃	塚崎 キミ子	〃
委員	〃	牧 由美	502

1. 開会

【生活課 石井】

本日は、お忙しい中、お集まり頂きありがとうございます。定刻となりましたので只今から、茂原市協働のまちづくり推進懇話会を開会します。なお本日の会議は ZOOM とオフラインとして 502 会議室で行います。

本日の進行を務めます、生活課の石井です。よろしく願いいたします。

初めに、市民部次長兼生活課長の宮本より挨拶を申し上げます。

【生活課長 宮本】 ー挨拶ー

【生活課 石井】

会議に入る前に資料の確認をいたします。まず会議次第がお手元に届いていると思います。その他にパワーポイントの資料を使用しますが画面を共有し、後日、会議録と一諸に郵送いたします。それでは、次第に沿って進めてまいります。

ここからの進行は座長の関谷様にお願いいたします。

【関谷 座長】

只今、座長の指名をいただきました関谷です。よろしくお願いいたします。それでは会議次第に沿って進めていきます。

次第2. 協働のまちづくり推進事業の進捗状況について事務局より報告をお願いします。

2. 協働のまちづくり推進事業の進捗状況について

【生活課 石井】

茂原市協働のまちづくり推進事業の進捗状況についてご説明いたします。

【パワーポイントと会議資料より説明】

- ・もばら市民活動支援センターポータルサイトのバナーの掲載
- ・市民活動団体の認定及び支援
- ・地域まちづくり協議会の認定及び支援
- ・協働提案事業

※もばら市民活動フェスタ2022オンラインを開催予定であり2月18日(金)～27日(日)の期間においては、茂原ショッピングセンターアスモにおいて特別展として活動団体の紹介動画や自治会標語コンクール掲載、児童・保護者に対する交通安全啓発を行う予定です。

3. 意見交換

【関谷 座長】

只今、事務局から進捗状況の報告がありましたが、この後の時間は委員の皆さんと意見交換を行いたいと思います。皆さんからご質問やご意見がありましたらお願いします。

【若林 委員】

意見ではありませんが、そちらの会議室の状況を教えて下さい。

【生活課 石井】

すみません。ご紹介が遅くなりました。会議室には自治会長連合会会長の西條さんと牧さんがおります。宜しく願いいたします。

【西條 座長職務代理】

西條です。よろしくお願いいたします。今回もこのようにリモート会議を開催しておりますが、自治会長の立場からお話しますと、会員の年齢が高いためパソコン等が使用できない状況です。地区のまちづくり協議会など進んで行っている地区がある一方、地区によっては理解が薄く地域差があるため、市の基本構想みたいなものがあれば分かりやすくなるのではないかと思います。

本納地区では20自治会あるが、リモート会議など実施しようとしても、数団体しか出来ないため、少人数で集まるか会議は書面になってしまいます。

高齢者に対しITを上手く活用できないかご意見を伺いたいと思います。

【関谷 座長】

高齢者にとってオンラインは不慣れなため、何か良い方法はないか。ということですが皆さんのご意見をいただきたいと思います。

【塚崎 委員】

シニア層も同じ悩みを持っています。まずは、出来る人同士で教えてあげることが大切で、私達も学生とどのように繋がるかが課題で、岡山県の学生ボランティア等を調べてみました。

若い人達の力をどう活用するかをテーマとして共通を見つけ「お互い様」を見つけることが必要と感じています。

【河野 委員】

我々もパソコンを使用しづらい年齢で、この2年間コロナの影響により活動が出来ていない状況でした。そこで地域を見守るアプリを始めることにしました。

先ほどから話しが出ている高齢者に対してスマホやパソコンの使用の仕方を総会等の集まる時に勉強会として開催するなど、小さいことから始めてみてはどうでしょうか。

【関谷 座長】

出来ることから始めることは大切だと思います。その他にどうですか。

【吉野 委員】

学生の話しについてですが、研修やフィールドワークを進めて行くことが大切で、学生とシニアが繋がることを期待しています。

まちづくりの基本は人づくりで「人と人との和」が「人と人との輪」になり、フェイス to フェイスが基本と思っています。

情報として我々は毎年「五郷を語る会」として地域の要望を市へ提出しています。コロナの影響により対面での会議ができておらず、今年に関しては開催の方向で進めていたが最終的には書面での回答となってしまいました。

【生活課 石井】

西條会長のITの話から自治会においては、まだまだ進んでいない状況と認識しております。

また、五郷を語る会の件も当初は対面で行う予定で進めておりましたが、年明けに第6波となってしまう、千葉県全域に「まん延防止等重点措置」が出たことから開催を中止したところです。今後も地域と市が繋がれるよう検討して行きたいと思います。

まちづくりにおいて、まずは人と人が会うことが大切であり、それが地域に広がるよう考えてまいります。

【若林 委員】

タイムリーで、ママ友と子育て中のお母さんとお話をしました。「市内で学校閉鎖や学級閉鎖などの状況で連絡網が電話なんです。」と話していました。これも園長とか上の考えで、「他のお母さんは紙ベースがいい。また違うお母さんはメールがいい。」など全てがデジタルの意見が通らない状況です。

例えば生協では、紙で注文する人やデジタルで注文する人がいて、デジタルの人には紙のカタログは不要となる。要するに選べる事がいい！個々が選択出来れば良いのではないか。レジ袋もお金が掛かる時代でエコバックを持って行く人、お金が掛かっても袋を買う人がいることから、選べる事が一番ではないでしょうか。

愛知県豊川市では、電子回覧の実証実験をしています。先駆けてやっている自治体からデータを貰いバージョンアップさせてみてはどうでしょうか。

茂原市はいつも「いいね」で終わってしまいます。ボタンを押せば通話出来るなど、いろいろなジャンルを活用してみてはどうでしょうか。

リアルが一番だけどコミュニケーションが大切と考えます。

【関谷 座長】

どちらかと言うと行政は併せがちだが、選択が出来るシステムの構築は必要であると思います。その他、皆さんより何かありましたらお願いします。

【西條 座長職務代理】

今、この会議室には石井さんの前にパソコンが1台あるだけです。市でもこの状況ですので、今後、どのように進めていくか自治会も含め検討していきたいと思います。

【関谷 座長】

デジタル環境をどう進めて行くか、過渡期に来ていると感じています。当面は混在型と地域単位であれば参加型の何か仕組みを構築する必要があると思います。

学生ボランティアや地域の見守りなど、学生の授業もいろいろな媒体を選択しながら進めている状況です。

【牧 委員】

まちづくりや市民活動のあり方について、先ほどのバナーの件で、興味があるからアクセスする。市役所内の課同士のコミュニケーションも大切で、紙媒体にはQRコードを載せ、また課の窓口にチラシを置くことでPRでき、シニア世代も参加しやすくなると思います。

市民活動団体の推進は、如何に社会活動に協力できるかであり、それぞれの団体が分かりやすく活動内容を定義できれば参加もしやすくなると思います。

市が「やってくれない」ではなく、市民活動に対するアドバイスを貰えれば、それに対して活動団体がどう動くかで協働でやれる何か生まれるのではないのでしょうか。

【関谷 座長】

ありがとうございます。やれることをどう進めるかで、市民活動が変わると思います。その他、皆さんより何かありましたらお願いします。

【河野 委員】

今回のフェスタで、我々の団体は2年間活動が出来ていないが、前回の動画で良いので流してもらえないでしょうか。

【生活課 石井】

現在14団体の動画で用意していますが15団体目として貼り付けます。

【若林 委員】

今回が最後となりますが、前回話したバナーの件についてこんなに早くやってくれるなど懇話会での話しが実現し、ありがたく思います。しかし、色や形、文字についても見せ方の工夫をしてもらいたいです。メインは何か、コンセプトを重視し考えてもらいたいと思います。例えば色やセルのサイズを指定し広く公募するなど幅広いアイデアを募ることで、もっと良いものが出来るのではないのでしょうか。

千葉市は進んでおり、回覧やお知らせをライン形式で実施しています。良いものをまねして自治体独自の物に変えていく時期ではないのでしょうか。

【吉野 委員】

今回最後ですので一言すみません。

まちづくりを行っておりますが、会員の高齢化、人口減少、情報推進について自治会やまちづくり協議会で議論していくことが大切です。今後このような場を作る検討をお願いします。

【関谷 座長】

まちづくりの根幹の部分で地域活動の中心となる人達が高齢化してきています。

テーマを設けて実施できればと思います。地域活動において地域に合った「どんなやり方」が良いのか議論していくことが重要だと思います。

【塚崎】委員

支援センターのあり方として、センター機能は地域のコーディネーター業務であることを当初から打ち出しており、地域の課題に取り組むことが必要だと思います。

「まちびとカフェ」の運営や「フェスタ実行委員会」の組織づくり、また情報誌を出すなど関係性を整理してみてもどうでしょうか。

我々も、一人一人が出来ることからやっていき、地域に広がればと考えておりますので、今後もよろしくお願いします。

【関谷 座長】

センターは橋渡しの部分で、団体と団体、団体と個人を繋げ広がらないと進まないと思います。今後もよろしくお願ひします。他にどうでしょうか。

【若林 委員】

例えば福祉センターにW i -F i を入れてほしいです。場所を作れば繋がり広がると思ひます。W i -F i 環境の整備は市の課題であると思ひます。

この会議から各課を越えてお話しをして頂ければと思ひます。例えば災害時には避難所となり情報提供をするなど中心的な施設になります。現在、学校教育施設の整備は整ってきておりますので、今後、福祉センターの機能を高めて頂きたいと思ひます。

【河野 委員】

支援センターを自立したセンターとなることを希望します。2階の生活課の狭い場所ではなく、また集える場所として市役所1階の旧アゼリアでは時間制限があることから今後、新たな場所を提供して頂きたいと思ひます。

【生活課 石井】

今後D X (デジタルトランスフォーメーション) も含めインターネット環境をどう進めて行くか協議していきます。旧アゼリアの使用する時間については事前にご連絡を頂ければ利用できるようにしておりますので、ご活用いただければと思ひます。

次年度の「まちびとカフェ」では運営委員会形式に向け、活動団体と協議し懇話会でのご意見として反映させていきたいと思ひます。

【西條 座長職務代理】

最後にI T活用について環境整備を含めインフラ整備をぜひお願ひします。

【塚崎 委員】

今後D X のパブコメが始まるので注目しています。総務課より【2/16(水)～3/16(水)】

【関谷 座長】

今後に向けて、まずはプラットフォーム的に作る事が大切で、限られた場所で行うのではなく、やれる人がやれることをする。

協働の推進は、インフラ整備を含め多くの課題からいろいろな繋がりが出てくることで進んでいきます。それがプラットフォームとなっていくと思ひます。

D X での地域活動について、現場が活きるような議論が必要で、団体と団体を繋げるだけでなく提案して下さった内容をみんなで協議しブラッシュアップしていくことが大切だと思ひます。

それぞれの地域活動でのご活躍を期待しております。

【生活課 石井】

支援センターとして活動を知ってもらうことから始めてまいりました。
3年が経過し、今回のご意見を活かし次年度以降に向け取り組んでいきたいと思ひます。

【関谷 座長】

このメンバーでの懇話会はこれで終了となりますが、これからも宜しくお願ひしたいと思ひます。

4. 閉会

【生活課 石井】

本日いただきましたご意見を踏まえ、来年度以降の取り組みにつままして、更なる充実に努めてまいります。以上をもちまして終了といたします。

終了11：50